

**事故で亡くなられた御霊に、
鉄道の安全確保を求めるため
職場から闘うことを改めて誓います！**

2005年4月25日に発生したJR福知山線脱線事故から5年目をむかえました。
この間、事故の原因が追及されてきましたが、最大の原因はJR西日本会社の「営利優先・不
安全な企業体質」にあったことは社会的にも明らかになっています。

この間、JR西日本会社の経営陣は事故の責任を社員や労働組合に転嫁する言動を繰り返して
きました。しかし、4月23日「井出、南谷、垣内」の歴代3社長が在宅起訴されました。さきに起訴さ
れていた山崎前社長に続いてJR西日本の歴代4人の社長が起訴されたこととなります。日本の企
業の中でこのような企業が他にあるのでしょうか。まさに異常な企業体質と言わざるを得ません。今
後は、事故が起きた原因や会社の経営責任が裁判で明らかにされていくこととなります。

事故から5年になる前日(24日)、JR西労は「企業
犯罪を繰り返す経営陣弾劾！ 営利優先・運行第一・
社員への責任追及・労使癒着の不安全な企業体質
を一新する集会」を開催しました。

私たちが集会に参加し、事故の真相究明と安全な
鉄道を提供できる職場風土を創る決意を改めて感じ
ました。

集会には、事故のご遺族や、信楽高原鉄道事故
遺族会、韓国の鉄道労働者らが参加しそれぞれの立
場からJR西日本会社の異常性を訴えました。



(4月24日に開催された集会)

私たちの職場においても、異常な添乗や試問が繰り返され、些細なミス等でも乗務から外
され懲罰的な日勤、乗務の集中力を欠くペーパーテストが強要されています。JR東海会社
も事故の教訓をしっかりと受け止めるべきです。

マスコミによると、他のJR会社は口が重く言葉が少ないと報じています。なぜ、安全に
対するコメントも出せないのでしょうか。同じくJR東海ユニオンも見解を出そうとはしま
せん。労使が、安全よりも「効率化・儲け」を優先する姿勢では鉄道とそこで働く社員の安
全・健康が脅かされてしまいます。